

日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

➤ 来週の日経平均予想

➤ ピーク to ピークから（参照：10 月～11 月ピーク to ピーク 2023 年版）

11 月 SQ2 週間後の終値は 33,625.53 円でした。ピーク to ピークでのデータでは「11 月 SQ2 週間後は、11 月 SQ1 週間後の終値（33,585.2 円）よりも高くなる」でしたので、今回はデータ通りでした。

直近10週間の週単位でのピークtoピークの検証結果						
9月15日	33,533.09(終値)	安くなる	9月22日	32,402.41(終値)	○	0.966
9月22日	32,402.41(終値)	安くなる	9月28日	31,857.62(終値)	×	0.983
9月28日	31,857.62(終値)	安くなる	10月6日	30,994.67(終値)	○	0.973
10月6日	30,994.67(終値)	高くなる	10月13日	32,360.91(SQ値)	○	0.973
10月13日	32,360.91(SQ値)	高くなる	10月20日	31,259.36(終値)	×	0.966
10月20日	31,259.36(終値)	安くなる	10月27日	30,991.69(終値)	○	0.991
10月27日	30,991.69(終値)	高くなる	11月2日	31,949.89(終値)	○	1.031
11月2日	31,949.89(終値)	安くなる	11月10日	32,454.88(SQ値)	×	1.016
11月10日	32,454.88(SQ値)	高くなる	11月17日	33,585.2(終値)	○	1.035
11月17日	33,585.2(終値)	高くなる	11月24日	33,625.53(終値)	○	1.001
11月24日	33,625.53(終値)	高くなる	12月1日	?		

(独自作成)

次に来週の予想です。

12 月 SQ2 週間前の値と 12 月 SQ1 週間前の値を比較すると、SQ1 週間前の値の方が高いパターンは 28 回中 19 回ありました (①)。

次に、12 月 SQ2 週間前までの 1 週間が上昇したパターンは 18 回あります。そのうち 12 月 SQ1 週間前までの 1 週間が上昇したパターンは 11 回あります (②)。

①、②より「12 月 SQ1 週間前の値は、12 月 SQ2 週間前の終値（33,625.53 円）よりも高くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

➤ 外国人の売買動向（資料：外国人の売買代金、信用残の推移）

11 月第 2 週の外国人は 3,629 億円の買い越しでした。この週は日経平均も 1,000 円以上の上昇となり、外国人が原動力だったことを裏付けます。「外国人買い＝株高」のパターンが続いています。一方個人投資家は今週も大幅売り越し。直近 3 週間で 1 兆 2,000 億円以上の売り越しとなっています。

ドル建て日経平均も続伸しますが、円建て日経平均がほぼ横ばいだったことやドル円もほぼ横ばいだったことから大きな動きはありませんでした。なお先週書きましたが、今週円建て日経平均がザラ場ベースで高値更新する水準まで到達したのに対し、円安が影響し、3 分の 2 くらいしか戻っていません。

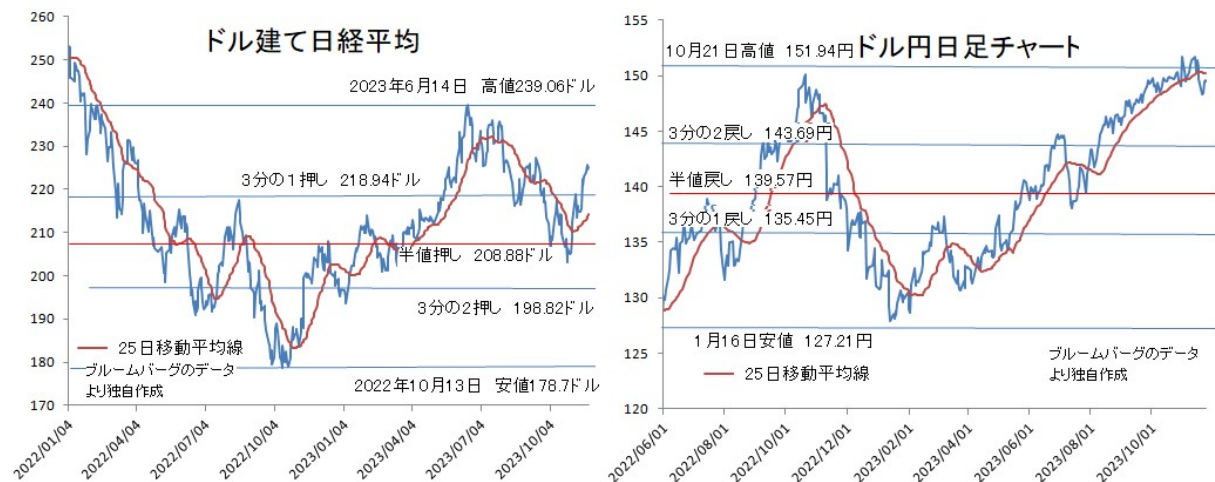


ニュース証券株式会社

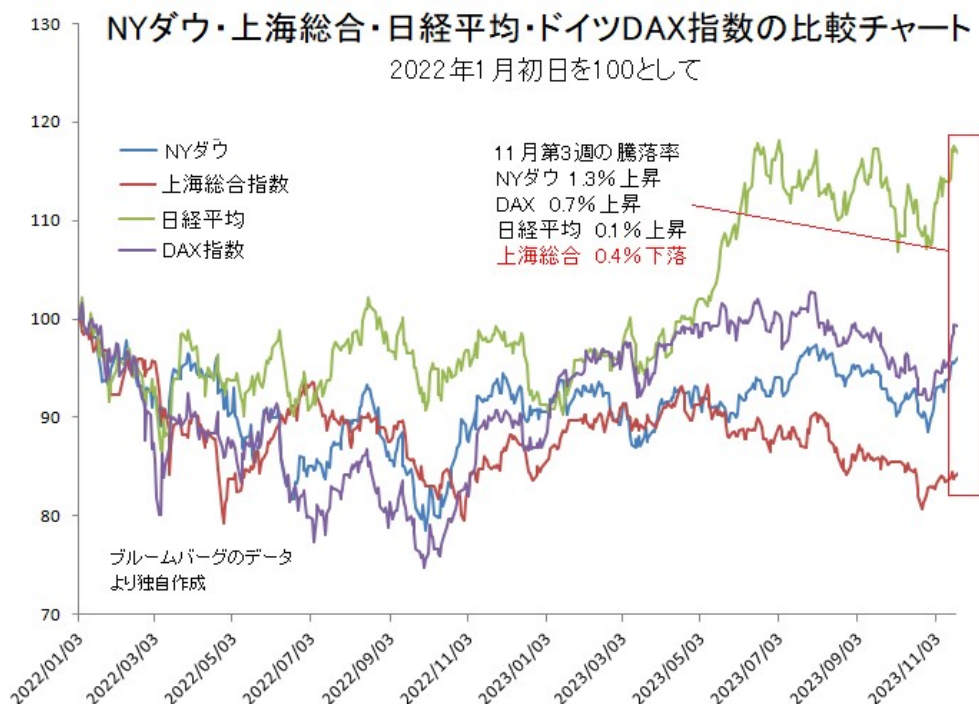
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

次にドル円です。今週は米 10 年債利回りが 4.38%と、2 か月ぶりの水準まで下げてきましたので、ドル円も 9 月 14 日以来の 1 ドル 147.14 円まで円高が進みました。「人民元が対ドルで 4 か月ぶりに高値を付けたことで対円にも波及した」のでは、という観測もあります。中国は直近で大幅に米国債を売却しているようですが「米中間の主導権争いもあるのではないか」と考えるのは、勘ぐりすぎでしょうか？

なお今週 147 円を付ける場面で一時 75 日移動平均線を下回りましたが、週末は上回って終わっています。7 月にも一度同線を下回る場面がありましたが、一時的でした。かろうじて円安トレンド継続中と言えますが、来週以降このラインを明確に下回ってきたら、4 月から始まったこの流れにも変化が出てきたことになります。



次に世界のマーケットです。先週までは 3 週連続で 4 指数ともに上昇していましたが、連続記録を中国上海指数が止めました。影の銀行（シャドーバンキング）の債務問題が再浮上したり、肺炎患者が急増しているとのことです。この影響を受け、週末の東京市場はインバウンド関連銘柄がつかえ安となりました。なおほかの市場もこれまでの急騰に比べると緩やかな上昇でした。

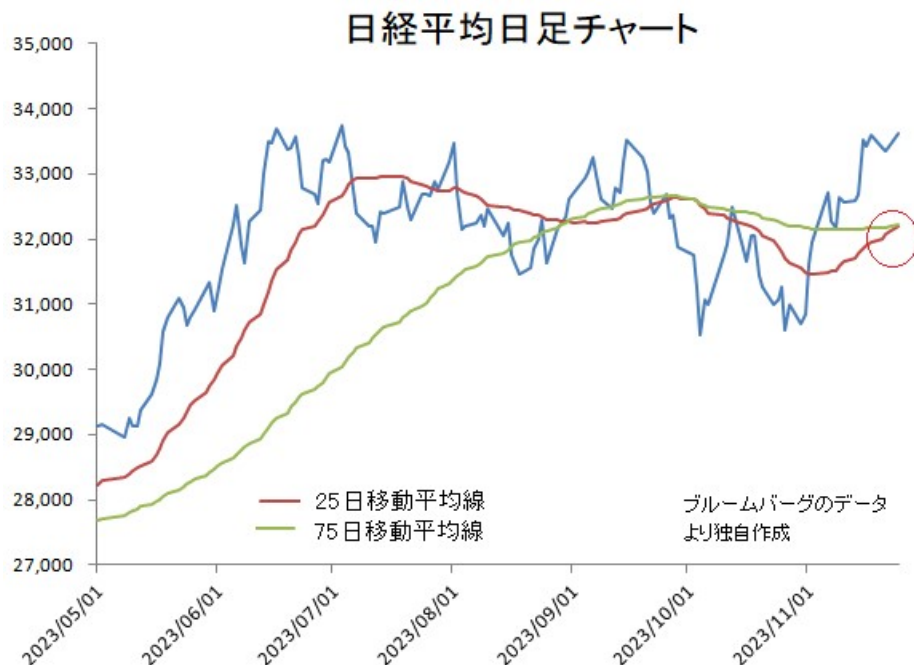


ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

➤ チャート分析

今週の日経平均は 40 円高と、4 週連続の上昇となりました。上記したように、日経平均も先週までの 3 週間で 2,600 円近く上昇していましたが、今週はザラ場ベースで今年の高値を付けたこともあり、わずかな上昇でした。



今週 25 日移動平均線が 75 日線を上回（ゴールデンクロス）ってきました。9 月にも一時的にゴールデンクロスした場面がありましたが、それ以前では 2 月以来です。当時はその後一段高となりましたので、今回もその可能性は十分あります。事実、2020 年は 11 月に急騰し年初来高値を更新した後、12 月も続伸しました。ただ過去 10 年で見ると、11 月は 9 勝 1 敗ですが、12 月は 5 勝 5 敗となっていますので、個人的にはここからは「逆張り」での戦略がよいのではと考えます。

先週も書きましたが、坂を上っているときは上ばかり見るものです。少し立ち止まって、上ってきたこれまでを振り返ることも時には必要ではないでしょうか。「山高ければ、谷深し」と言いますから。

- ・この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
- ・この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いします。

News 20231127-1



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会